

特選講師情報

リストNo 13892

2024/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： **C**
BEST9

「日本一バズるアナリスト」

● 日本経済と企業の取るべき戦略

馬淵 磨理子

経済アナリスト／日本金融経済研究所代表理事

京都大学公共政策大学院 修士課程修了。トレーダーとして法人資産運用を担う。その後、金融メディアアナリスト、FUNDINNOで日本初ECFアナリストとして政策提言に関わる。フジTV(LiveNEWS αレギュラー)、TV東京、日本TV、BS朝日、読売テレビ、日経CNBC、プレジデント、ダイヤモンド、Forbes JAPAN、SPA!などで活動。ラジオレギュラー番組3本。Yahoo!ニュース公式コメンテーター、ラジオ日経レギュラー番組等。プレジデントオンライン執筆記事は2020年の半年間で累計6000万PVを超える。著書に『5万円からでも始められる! 黒字転換2倍株で勝つ投資術』『京大院卒経済アナリストが開発! 収入10倍アップ高速勉強法』『株・投資ギガトレンド10』。大学時代は、国際政治学を専攻し、ミス同志社を受賞。
(他のテーマ) ・ リスキリング、年収10倍UP「高速勉強法」
・ おさえておくべき最低限必要な経済の仕組み



講演料： **B**
BEST9

元外務事務次官が当時の経験からの教訓も交えながら日米や世界の情勢を読み解く

● 緊迫の国際情勢と日本の針路

数中 三十二

大阪大学特任教授／(元)外務事務次官

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務。87年北米局北米第二課長(日米経済摩擦担当)、90年国際戦略研究所(ロンドン)主任研究員。91年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使。95年大阪大学特任教授。98年在シカゴ日本国総領事館総領事。2002年アジア大洋州局長(六者協議首席代表)。05年外務審議官(経済担当・G8サミット・シェルパ)。07年外務審議官(政務担当)。08年外務事務次官に就任。10年外務省退官。主な著書に『トランプ時代の日米新ルール』『世界に負けない日本』などがある。

(他のテーマ) ・ 国際社会の中の日本、その課題と展望
・ 世界に負けない日本～国家と日本人が今なすべきこと



講演料： **B**
BEST9

政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発

● 今起こっていること、これから起きること

～政治経済の裏を読む～

須田 慎一郎

経済ジャーナリスト

1961年東京生まれ。日本大学経済学部卒業。銀行業界紙、経済専門誌記者を経て、フリージャーナリストに。「夕刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動を続ける傍ら、テレビ朝日「ワイドスクランブル」、「サンデーフロントライン」、読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」、ニッポン放送「あさラジオ」他、TV、ラジオの報道番組等で活躍中。又、2007年から12年まで内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。金融界、日本銀行、財務省、東京地検等に豊富な人脈を持ち、金融問題、経済事件のレポート、分析には定評がある。

(他のテーマ) ・ 今後の日本経済 地域経済
・ 日米新体制発足で、日本経済そして世界経済は、どう変化するのか



講演料： **B**
BEST9

数少ない女性人工知能研究者の一人で『感情を持つ人工知能』研究の第一人者

● AI・IoT がもたらす企業活動や市民生活のイノベーション

坂本 真樹

人工知能学者・電気通信大学副学長

1969年北海道出身。東京外国語大学ドイツ語学科卒業。2000年東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士号取得。東京大学助手、電通大講師、助教授、准教授、大学院准教授を経て、15年教授。16年より人工知能先端研究センター教授を兼務。国際会議でのベストアプリケーション賞・人工知能学会論文賞など多数受賞。オノマトペや五感や感性・感情といった人の言語・心理などについての文系的な現象を、理工系的観点から分析し、人工知能に搭載。著書『女度を上げるオノマトペの法則』などがあり、テレビ、ラジオ出演、新聞、雑誌の執筆、講演などで多忙中。

(他のテーマ) ・ 感性AIによるマーケティングの可能性
・ AIと生きる未来予想～人間にしかできない仕事とは? AIに代わられない人材とは?

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B
BEST9

「世界一受けたい授業」「坂上&指原のつぶれない店」などに出演

● ローカルで光を放つ～地域経済の活性化策

中村 智彦

神戸国際大学経済学部教授

1964年生まれ。上智大学卒業後、タイ国際航空、PHP総合研究所を経て、大阪府立産業開発研究所国際調査室研究員として勤務。2000年名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程を修了(学術博士号取得)。その後、日本福祉大学経済学部助教授を経て、現職。愛知県愛知ブランド審査委員、山形県川西町総合計画アドバイザー、東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長など自治体や団体の役職を務める。2017年4月からヤフーニュースオースターとして記事を執筆。11月には「月間MVA(Most Valuable Article)」を受賞。毎日新聞ウェブ版「経済プレミア」にも連載中。

(他のテーマ) ・ 地域経済の活気ある明るい未来の実現に向けて
・ 地域産業の振興に欠かせない視点



講演料： B
BEST9

著書がドラマ化 NHKドラマ10「マチエ場のオンナ」

● 中小企業のIT活用によるローコストオペレーションの実現

諏訪 貴子

ダイヤ精機株式会社 代表取締役

1971年東京都大田区生まれ。95年、成蹊大学工学部卒業後、自動車部品メーカーのユニシアジェックス(現・日立Astemo)入社。2004年、父の急逝にともない、32歳の専業主婦からダイヤ精機の2代目社長に就任。その後、10年でダイヤ精機をマスコミ等で度々取り上げられるほどの優良企業に変革させた。新しい社風を構築、堅実な経営を維持している。08年経済産業省「IT経営実践企業」に認定。育児と経営を両立させる若手女性経営者として日経BP社Woman of year 2013 大賞(リダー部門)受賞。著書に「町工場の娘～主婦から社長になった2代目社長の10年戦争」

(他のテーマ) ・ 中小企業の組織づくりと人材採用・育成
・ 中小企業が生き抜くための経営改革と人材育成



講演料： B
BEST9

全ての現場をディズニーランドやUSJのようなワクワクする価値を創り出す組織、人材、場へ！

● 「えっ！人財育成には優先順位があったのか?!」

自ら考え、分析し、行動から成果を創り出す自律型人材の育て方

今井 千尋

2大テーマパーク 人材育成・人材開発トレーナー

㈱オリエントランドへ入社。東京ディズニーシー開業時には自社内導入研修講師として数千名の研修を実施。その後、合同会社ユー・エス・ジェイへ転職。森岡毅氏がマーケティング本部長時代、直下プロジェクトであるゲストサービス向上施策にも立ち上げメンバーとして参画。各部門及び全社的なCS向上、CS人材を育成。企業内大学の創設に一貫して携わる等、USJのV字回復期に人材育成・人材開発の側面から支えてきた。2019年より人材育成・人材開発コンサルティング会社を設立。独自性のあるコンテンツは好評。SHIBUYA QWS コモンズにも就任し、スタートアップ企業～大手企業まで人材育成、人材開発分野の有識者として貢献している。

(他のテーマ) ・ テーマパークで学び身につけた成果を出し続ける自律型人材体験学習
・ 部下を本気でできる上司、やる気を奪う上司 ～テーマパークの上司から学んだ自律型人材育成とは



講演料： B
BEST9

● 戦いは最後の5分間にある

矢内 理絵子

女流棋士 女流五段

1980年 埼玉県出身。8歳で父親に将棋を教わり関根茂9段門下。90年女流育成会入会。93年4月プロ棋士に。06年第32期女流名人位を獲得。続く第33期、第34期も防衛を果たし女流名人位3連覇を果たすなど、これまでにタイトルを多数獲得。'13年4月に女流棋士会会長に就任。現在NHK Eテレ「NHK杯テレビ将棋トーナメント」の司会を務めている。'09年茂木健一氏との共著『女脳～ひらめきと勝負強さの秘密』(講談社)を上梓。

(他のテーマ) ・ 直感とは ～思いつき・勘とは違うもの
・ 勝負に勝つためには ～引き出しを多く持つ



講演料： B
BEST9

オール一本勝ちで五輪2連覇達成！ <60分講演+質疑応答>

● 金メダリストの思考回路

谷本 歩実

女子柔道 アテネ・北京オリンピック金メダリスト/JOCオリンピック委員会理事

1981年生まれ、愛知県出身。筑波大学卒業後、コマツ入社。女子柔道63キログラム級、アテネ・北京オリンピックで金メダルを獲得。大会史上初となるオール一本勝ちでの連覇となった。2010年引退後はコマツ柔道部のコーチを務める傍ら、栄養士の免許を取得。2013年3月から2年間JOC海外指導者研修でフランスへ留学し、現在、全日本柔道女子チームの特別コーチや、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事を務める。一児のママとしても活躍中。

(他のテーマ) ・ 私の柔道人生
・ (ご希望に応じます)

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： C

物流・金融・保険 分野のエキスパート
● 企業に求められる新しい価値観

野村 修也

中央大学法科大学院教授/森・濱田松本法律事務所客員弁護士

1962年生まれ、北海道出身。85年中央大学法学部卒業。87年3月中央大学大学院研究科後期博士課程をを経て、西南学院大学専任講師、助教授。1998年中央大学法学部教授に就任。04年より現職。「商法」「会社法」「金融法」が専門で、中でも「コーポレート・ガバナンス」「コンプライアンス」「規制改革」の研究で知られ、法制審議会や金融審議会等を通じて各種の立法に関与。98年金融監督庁発足の際に初の民間官僚として参事に就任。その後、金融庁、総務省の顧問、郵政民営化委員、東京都参与などを歴任。M&Aなど企業法務も手掛け、TVドラマの監修を務める。

- (他のテーマ) ・ 攻めのコーポレートガバナンスとは何か ～グローバル競争を勝ち抜くために
・ 最悪の事態を招かない 事業継続に必要な視点～日頃から取り組むべき「企業の健康維持」とは



講演料： B

● 脱炭素の本質と採るべき戦略グリーンバブルの未来を占う

杉山 大志

一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

東京大学理学部物理学学科卒、同大学院物理工学修士。電力中央研究所、国際応用システム解析研究所などを経て現職。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)、産業構造審議会、省エネルギー基準部会、NEDO技術委員等のメンバーを務める。産経新聞「正論」欄執筆メンバー

- (他のテーマ) ・ SDGsの不都合な真実 —「脱炭素」が世界を救うの大嘘
・ 脱炭素で経済が崩壊する



講演料： B

情報通と呼ばれる人が、ネタを仕込みにくる講演会を目指しています

● 世界の視点で考える日本経済の行方

吉崎 達彦

双日総合研究所 チーフエコノミスト

1960年富山県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日商岩井(株)に入社。広報誌『トレードピア』編集長を経て、米国ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会調査役などを経て、日商岩井とニチメンの合併により'04年より現職。自身のホームページ「溜池通信」にて、米国の政治経済について鋭く分析したレポートを配信。産経新聞「正論」、毎日新聞「ナビゲート」、中央公論「時評2015」などで連載コラムを持つほか、TV東京朝日「モーニングサテライト」コメンテーターなど、テレビ・ラジオでも出演多数。著書に『オバマは世界を救えるか』『世界経済連鎖する危機』などがある。

- (他のテーマ) ・ 当面の国際情勢と日米関係
・ 日本・世界経済大予測



講演料： B

● 揺らぐ世界経済と日本企業

中山 淳史

日本経済新聞社 コメンテーター

1989年上智大外国語学部卒、日本経済新聞社入社。編集局産業部、米州総局(ニューヨーク)、証券部などを経て、2010年に産業部編集委員兼論説委員、13年から企業報道部次長兼編集委員。自動車、電機、運輸などを担当(産業動向、経営トレンドに精通)。17年2月から現職。「GEと東芝」「移動の未来」「カルロス・ゴーン事件」などで執筆、講演多数。'01年の米同時テロをニューヨーク駐在時に取材。学生時代にアルゼンチン留学も経験。

- (他のテーマ) ・ 自動車産業をめぐる世界の動向
・ 変わるリーディング産業の条件



講演料： B

科学のホントの基本を知るだけで、あなたの頭は柔らかくなる！?

● ChatGPT革命 ～生成AIで何が変わる?何が問題?

竹内 薫

サイエンス作家

1960年東京生まれ。東京大学教養学科・物理学科卒業。マギル大学院博士課程修了。理学博士。大学院修了後、サイエンスライターとして活動。物理学解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物発刊。06年「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方」が40万部超のベストセラーに。物理・数学・脳・宇宙など幅広い科学ジャンルで発信を続け、執筆、TV、ラジオ、講演など精力的に活動。日頃縛られることの多い思い込み、常識、前例、先入観、固定観念などの慣例や見方を少し変えるだけでビジネスや人生に役立つヒント満載。

- (他のテーマ) ・ AIと共存する未来～必要な思考のレッスンとは
・ 人工知能の進化 ～共存し、生き残る道とは

■ 講師陣 (敬称略)

● 食券とソロバンからA Iへ！失敗と成功、そして未来

小田島 春樹

有限会社ゑびや 代表取締役社長／株式会社EBILAB 代表取締役

1985年北海道生まれ。10代の頃から自身で輸入業やECビジネスを手掛ける。大学卒業後、ソフトバンク㈱にて組織人事や新規事業・営業企画を担当。'12年(有)ゑびや 入社。店長、専務を経て、現在代表取締役社長。'16年地域の課題解決を研究テーマに三重大学地域イノベーション学研究科の博士課程へ進学。'18年同大学院における研究テーマの社会実装を行なう為、サービス業向けデータ解析サービスプロダクトを手掛ける(株)EBILABを設立。'22年三重大学地域イノベーション学研究科の博士号取得。受賞に、Microsoft MVP 2回連続受賞('18年、'20年)、船井財団グレートカンパニーアワード'2019「ユニークビジネスモデル賞」受賞('19年)、第3回日本サービス大賞「地方創生大臣賞」受賞('20年)など多数受賞
(他のテーマ) ・ 老舗企業は変革し続ける 伊勢から変革する理由

- ・ ニューノーマル時代の小売・飲食店のDX戦略

講演料： B

● 凹凸は魅力。多様な個性を活かす人材育成術

～自ら考え、動き、挑戦する人材を育てる

梅原 千種

(元)ユニバーサル・スタジオ・ジャパン人材開発マネージャー／Universal Acad

2000年 関西大学卒業後、合同会社ユー・エス・ジェイ入社(新入社員1期生)。ユニバーサル・スタジオ・ジャパン グランドオープンに携わる。開業後はアトラクション(Terminator2:3D、BackDraft)運営責任者。'02年人事部配属。採用から教育、制度構築を担当。I'll be back制度、永年勤続表彰などユニークな制度を導入。採用における企業ブランディング作りから仕組み構築、実行までの責任者として携わる。'10年ユー・エス・ジェイ社内大学創設。変革期の組織における唯一の人事女性マネージャーとして、幅広い分野で活躍。'15年SmLearn設立。法人・自治体・教育機関で、人材開発コンサルタント及び研修・講演講師として活動。

(他のテーマ) ・ 組織に変革を起こす人材マネジメント～USJのV字回復を支えた組織づくりとは

- ・ 元USJマネージャーから学ぶ組織を変える職場コミュニケーション～周囲を巻き込み組織を強くする

講演料： B

話し方を変えると自分自身が変わる、周りの景色も変わる。そしてあなたの人生も変わる！

● 咄嗟力を身につけお客様対応に応用する方法

加藤 あや

株式会社プレアクト 代表取締役／コミュニケーション・スピーチコンサルタント

長崎県生まれ。福岡市内の大学を卒業後、RKB毎日放送リポーター、キャスター、天神エフェム パーソナリティを務める。2014年 Act communications を創業、'22年(株)プレアクト設立。企業研修(新入社員研修、ビジネスマナー研修、コミュニケーション研修、プレゼンテーション研修、1 on 1スキルアップ研修など)や人材育成コンサルティング、講演、話し方マンツーマントレーニング(経営者・営業職対象)、イベント・式典の司会、ナレーションなど活躍の場は多岐に渡る。近年ではC CO 代行として中小企業の社長の悩みや課題に寄り添い、売り上げ低迷、人間関係の問題などに対する言葉がけや質問の仕方、行動変容への導き方などのコミュニケーションの取り方をサポート。米国N LP 協会マスタープラクティショナー／LAB プロファイリングプラクティショナー

(他のテーマ) ・ 伝える力の習得と活用が企業の成長を加速させる

- ・ 第一印象だけではダメ!? 第ゼロ&第二印象をアップさせるコミュニケーション術

講演料： A

博多の歴女 人生に悩んだら日本史に聞こう

● 歴史に学ぶ 日本人のリーダー論

～知られざる 深い絆の物語～

白駒 妃登美

株式会社ことほぎ 代表取締役

埼玉県生まれ、福岡県在住。慶應義塾大学卒業後、大手航空会社の国際線乗務員として7年半勤務。その後結婚、出産を経て、福岡県を拠点に結婚コンサルタントの活動をしながら、「博多の歴女」として歴史講座を積極的に展開。2012年、日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に広く発信する「株式会社ことほぎ」を設立。全国各地で講演活動に取り組んでいる。著書に『人生に悩んだら「日本史」に聞こう』(共著、祥伝社)がある。2013年3月出版された新刊「感動する！日本史」(中経出版)も好評発売中。

(他のテーマ) ・ 人生に悩んだら「古事記」に聞こう！～幸せな人生と仕事のヒトは全部ここにある

- ・ 世界が愛したニッポン！～知られざる、深い絆の物語

講演料： B

● スポーツコンテンツとしてのeスポーツ

平方 彰

スポーツマーケティング/eスポーツ連合役員

日米野球、MLB(メジャーリーグ・ベースボール)の日本開幕戦をはじめとした数々のビッグイベントにおいて、企画・営業の第一線で活躍。WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)では「SAMURAI JAPAN」のネーミングを考案し、さまざまなスタイルのビジネスを展開。2007大阪世界陸上招致の成功や現東京マラソンの基盤作り・開催。選手契約(石川遼、羽生結弦、村田諒太ほか)マーチャンダイジングなどを手掛け、電通スポーツ局の中心人物として業務する。2016年末、早期優遇制度により電通を退社。現在コンサルタント会社を立ち上げると共に日本eスポーツ連合の専務理事として従事する。

(他のテーマ) ・

講演料： B